

## 平成 29 年茨城県教育研修センター第 2 回外部評価委員会記録

日時	平成29年11月 1 日（水曜日） 午前10時から午前11時30分まで
場所	茨城県教育研修センター 中会議室
出席者	<p>○外部評価委員</p> <p>生越 達 委員 橋本 昭彦 委員 古川 聖登 委員 関 洋一 委員 大高 美子 委員 稲見 和子 委員 岡部 しのぶ 委員</p> <p>○茨城県教育研修センター</p> <p>所長 安藤 昌俊 次長 熊田 勝幸 次長兼教職教育課長 菅又 章雄 企画管理課長 吉田 孝則 教科教育課長 辻 武晴 情報教育課長 渡邊 政美 教育相談課長 田部井 悦子 特別支援教育課長 大川 行彦 企画管理課指導主事 岡野 敏昌 企画管理課指導主事 小林 豪</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 所長あいさつ</p> <p>3 研修講座紹介</p> <p>4 研修講座参観</p> <p>(1) 学校組織マネジメント研修講座</p> <p>(2) 中堅教諭等資質向上研修講座（小・中・高）：〔選択研修〕教育相談分野</p> <p>(3) 若手教員〔初任者〕研修講座（小学校）：情報教育分野</p> <p>5 研修講座に関する意見交換等</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>

1 開会

2 所長あいさつ

3 研修講座紹介

- ・センタートップページに掲載した研修の様子を視聴
- ・いばキラTVの動画で研修の様子を視聴

4 研修講座参観（講座説明及び参観）

- ・学校組織マネジメント研修講座
- ・中堅教諭等資質向上研修講座（小・中・高）：〔選択研修〕教育相談分野
- ・若手教員〔初任者〕研修講座（小学校）：情報教育分野

5 研修講座に関する意見交換等（○は委員，●は事務局を表す）

教育研修センター（以降，センター）研修講座参観後，次のような質疑応答があった。

（1）マネジメント研修講座について

- 企業同様，学校においてもマネジメントの考え方が重要であると感じた。

（2）中堅教諭等資質向上研修講座（小・中・高）：〔選択研修〕教育相談分野について

- 各先生方が聞き手役と話し手役になりきって相談技法を実践しており，効果があると感じた。
- 座席の位置や相談の進め方等，企業で行う相談技法と同様であることを確認できた。
- 研修の中で相談技法を録音していたが，研修室での録音環境に問題はないか。
- 機器の性能が向上しているため録音状態は良い。聞き取りにくい部分は，スピーカーも準備して対応している。

（3）若手教員研修〔初任者〕研修講座（小学校）：情報教育分野について

- 分かりやすく丁寧に計画されており，受講している先生方は，楽しみながら研修していた。今後，学校内で他の教職員に周知することを考える必要がある。
- ICT活用については，中堅教員に苦手意識があるので，若手教員だけでなく，中堅教員にも対象を広げて研修を計画してほしい。
- 機器の活用方法等，興味深い内容であった。
- 学校現場の課題としては，ICT機器の環境整備とICT教育を推進するリーダー養成である。
- 研修で活用しているICT機器は，各学校で整備されているのか。
- 市町村によって状況が異なり，各学校では十分整備されているとはいえないが，代替機器の紹介もしている。

（4）長期研修について

- アクティブ・ラーニングによる授業を積極的に実践している他県の授業を参観したが，同様の研究を長期研修生が行っており，先進的であると感じた。
- 研究成果が廊下に掲示されており，研修に来た先生方が参考にできるのでよい。
- 構想段階での発表会などを行うことはあるのか。
- 研究初期段階では，研究計画検討会や研究計画発表会，研究の途中では，研究内容検討会を行いながら研究を進めている。

（5）その他

- 研修方法については，少人数制で体験的であり，一人一人の学びにつながると感じた。研修は講義中心というイメージがあるので，体験的な研修が多いことをPRできるとよい。
- 事前研修やアンケートの要望への対応，マネジメント研修への事務職員の参加など，時代の要請に即した内容や方法が工夫されていると感じた。
- 大会議室の吊り下げ型のテレビは映るのか。
- 現在は映らない。

6 その他

外部評価委員会の今後のスケジュールについて（熊田次長）

7 閉会